

取材を受けました

先日、生徒会執行部の平山くん（インタビュアー）と中尾くん（撮影&記録係）よりIB教育についてのインタビューを受けました。

なんでも十勝毎日新聞から本校生徒会へ依頼があり、鹿追中学校での様々な取組をまとめた一面記事を作成中なのだから。体育祭や定期テストの合間を縫っての活動に頭が下がります。



生徒会長と固い握手を交わした後、

「なぜ鹿追町でI Bを取り入れたのか」

「授業の中で先生方が特に意識していることは何か」

などの質問を受けました。

なかなかコンパクトに説明するのは難しいもので、私自身もどうやって伝えたらわかりやすいのかを模索する勉強になりました。

それでもそれなりに一杯話してしまったので、編集は大丈夫かな？と心配していましたが、そこはさすが生徒会長の平山くん。限られた字数の中で、しっかりと私の話の要点を押さえた記事に仕上げてくださいました。

やるな～！（彼のような力をみんなに付けてほしいのがまさにI B教育の目指す所の一つです。）

記事は前後することもあるようですが7月3日（水）頃の新聞に載る予定とのこと。どうぞお楽しみに。

Unit1総括的評価課題概要一覧【1学年編】

各教科各単元の終盤に行われるテスト（成績にも大きく関わるものです）である総括的評価課題。

今現在各学年ど子どもたちがどのような内容に取り組んでいるのかを生徒・教員・保護者の皆さまと共有するため、先生方にご協力いただいで総括的評価課題の概要をまとめてみました。

あくまで概要ですので簡略的なものですが、気になったものがあればお子様と是非お話をさせていただければと思います。

本号ではまず、一年生の一覧をご紹介します。

教科	課題の概要（役割＋状況・課題＋成果物など）	重要概念
言語と文学 【国語】	あなたは新曲の発表を控えたアーティストです。1ヶ月後のライブで新曲を発表することになっています。そのための曲は完成しましたが、歌詞が書いていません。自分の過去の体験やその時の景色、思いが伝わるような詩を創作しよう！（総括的評価課題：詩の創作（ジャケット、制作秘話付き））	創造性
数学	あなたは、小学6年生の保護者です。自分の子どもに論理的思考力をつけさせるための問題を作成する必要があります。小学生はどのようにして解けるのか、中学生はどのようにして解くのかをプレゼンテーションしてください。	論理
個人と社会 【社会】	あなたはある国の代表者です。グローバル化に伴い独自の文化を気づいてきたはずのあなたの国の人々は外国の文化に興味を持ち始めています。そこであなたは自国の文化を守りたいと考えています。固有文化の大切さ、外国文化に影響されない方策、自国の文化の大切さを自国の国民に向けてメッセージを作成してください。	変化
理科	鹿追町にはどんな生物が生息しているのでしょうか。生物の分類の学習内容も生かしながら、鹿追町に住む生き物ガイド（パンフレット）を作成します。（総括的評価課題：鹿追町生物紹介パンフレット）	体系
言語の習得 【英語】	あなたは英語圏の国にホームステイしながら短期留学する中学1年生です。留学先のホストファミリーと初めてあう瞬間がやってきました。自分のことをよくわかってもらい、良い関係を作りたいという気持ちが伝わる自己紹介をします。	コミュニケーション

芸術 【音楽】	シューベルトが作曲した歌曲に「魔王」があります。日本の中学1年生の音楽の教科書には、約60年間載っている名曲です。掲載され続けているのには理由があるはずです。鑑賞するあなたも、きっとその魅力に気が付くはず。あなたが気が付いたこの曲が持つ魅力を、多くの人へ発信してください。	コミュニケーション
芸術 【美術】	ある物を写實的に捉え、表すためにはどのような要素が大切か？（そもそも写實的な表現の意義や、主観と客観の境界とは・・・？なども含む）について、ミニ練習課題や作品制作を通して探究します。（総括的評価課題：作品）	美的感性
保体	自分に合った効率の良い動きは何か（総括的評価課題：レポート）	アイデンティティ
デザイン 【家庭】	①鹿追中学校制服・校内服等検討委員会として、近未来の鹿追中学校の制服・校内服をデザインしてみよう！②体育館での避難所生活（夏季と冬季の両方）を想定して、安心・安全を考えて、学校を改善したり、生活を工夫したりして、人々との居心地をよくするために中学生としてできることについてまとめてみよう！	発展
デザイン 【技術】	領域B；身の回りの生活や社会で利用されているフードシステムについて、解決すべき課題を設定し、生物育成技術の持続可能性について探究しましょう。ポテトチップス食べれるかな？領域A；あなたは鹿追町の「環境にやさしいものづくりへの提言！」に提案書を提出する中学生です。（総括的評価課題は、両領域ともプレゼンテーション）	システム

1 学年 総括的評価課題紹介 6月編

2 学年以降はまた次回の通信でお届けします。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

バックナンバー	概要
鹿中 IB 通信 NO.1 ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か？について書いています。
鹿中 IB 通信 NO.2	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。
鹿中 IB 通信 NO.3	こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。
鹿中 IB 通信 NO.4	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。
鹿中 IB 通信 NO.5	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。
鹿中 IB 通信 NO.6	IB 教育の大きな柱である ATL スキルと 10 の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。